



看護学科

高橋 恵子 教授

【研究分野】
【キーワード】
【URL】

市民と保健医療者が共に考える「市民中心のケア 「People-Centered Care」の教材開発

People-Centered Care、市民中心のケア、ヘルスリテラシー
市民中心のケア、市民と専門職とのパートナーシップ、健康づくり
<https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pid=326taka>



研究概要

People-Centered Care (PCC) とは、個人や地域社会における健康課題の改善に向けて、**市民が主体となり**、保健医療専門職とパートナーを組み行われる取り組みのことをいいます。

超高齢社会に伴うさまざまな健康課題の改善に向けて「People-Centered Care（市民中心のケア）」における研究成果を集積し、さまざまな健康課題に、市民にできることは何か、保健医療者にできることは何かについて、市民と保健医療者が共に考える教材づくりに取り組んでいます。



People-Centered Care モデル
高橋恵子他（2018）.

研究紹介

1. 市民と保健医療者が共に考えるPCC教材の開発

自分の健康を自分で創り守るために、さまざまな健康課題に、**市民と保健医療者が共に考える機会**となるPCC（市民中心のケア）のeラーニング教材開発に取り組んでいます。PCCとは何か、PCCの実践例やPCCの活動事例を取り入れた教材を作成中です。

すべての人の健康的な生活を創り守る

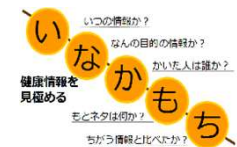
People-Centered Care
ピープル・センタード・ケア



PCC教材（作成中）

2. 市民のヘルスリテラシー向上をめざすプログラム開発に関する研究

自分の健康を自分で創り守るために、オンラインを用いた市民対象のヘルスリテラシープログラム（「健康情報へ適切にアクセスできる力」と「健康情報を正しく評価する力」に焦点を当てた市民講座）を提供し、その有用性を検討しています。



健康情報を見極める5つのポイント

講座テーマ紹介

1. ヘルスリテラシー講座（健康情報の探し方、選び方のコツ）：市民講座

自分の健康を自分で創り守るために、一般市民を対象に、オンラインを用いて健康情報を見極めるポイントをご紹介します。（本学オープンカレッジ講座）

2. 子どもへの「からだ」のおはなし会

5歳児前後の子どもたちを対象に、自分やお友達をもっと大切にするために、紙芝居を用いて、からだのしくみをお伝えしています。（本学オープンカレッジ講座）

アピールポイントなど

人々が自分の健康を創り守ることができるために、地域で取り組む健康支援活動に参加しています。NPO法人からだフシギ（メンバー）本学オープンカレッジ講座（市民のヘルスリテラシーの支援活動）、聖路加国際大学大学院看護学研究科（客員研究員、越谷しらこぼと基金委員会（委員）等